

ねえ、お茶漬け
食へていかない？

傷つけ合うほど若くない。
けれど、心を隠しきれるほど枯れてはいない。
だから……

東京夜曲

長塚京三

倍賞美津子

桃井かおり

市川準監督



1997年モントリオール国際映画祭コンペティション部門正式上映作品

人は、いつのまにか様々のことを体験して、

いつのまにか大人になって、

いつのまにかしがらみを

たくさんひきずって生きている。

ある「町」の時の流れが、

うつすらと塵が積もるように、

人をだめにしてしまう過程を、

描きたい、と思つてた。

東京夜曲

そして、そういう不毛な時間と闘うような、

なにくそというかんじの大人の恋愛映画」を

撮つてみたい、と思つてた。

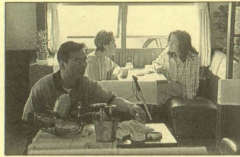
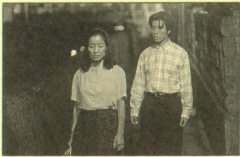
くすんだ町の話なのに、

どこか熱に浮かされたような

ところのある映画に、

なつていればいいと思う。

市川準



STAFF

原案・監督◎市川 準

企画◎鍋島壽夫

丸平 光

廣常啓一

プロデューサー◎里中哲夫

脚本◎佐藤信介

撮影◎小林達比古

美術◎間野重雄

録音◎橋本泰夫

照明◎中須岳士

助監督◎森 宏治

製作担当◎森 賢正

音楽◎清水一登

れいち

テーマ作曲◎市川量也

挿入歌◎「さびしいといま」

作曲・唄：高田 渡

作詞：石原吉郎

発売：コンビレコード

企画協力◎

ゴミーインターナショナル株式会社

製作◎株式会社衛星劇場

株式会社近代映画協会

配給◎松竹株式会社



松竹富士株式会社



1997年

カラー

ピスタサイズ

87分

CAST

浜中康一◎長塚京三

浜中久子◎倍賞美津子

朝倉定二◎上川隆也

浜中の父◎はやし・こぼ

浜中の母◎七尾伶子

伊藤智美◎安部聡子

ニン◎前田昌代

吉田◎有福正志

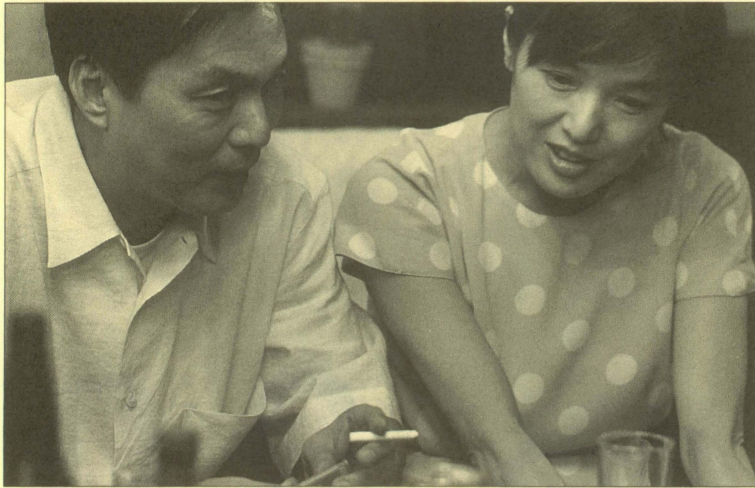
野村◎川野弘毅

松永◎八反田勝就

たみの義母◎朝霧鏡子

朝倉の父◎花沢徳衛

大沢たみ◎桃井かおり



時が穏やかに過ぎてゆくなか一人の男が帰ってきた。街はざわめきたち、やがて切ない愛のセレナーデが流れはじめ。

数年前に父母と妻子を残して家を出た男が商店街に帰ってきた。妻はなじることもなく、優しく迎え入れた。だが、男の帰還は男の妻に密かに想いを寄せていた青年の慕情を募らせ、かつて恋人だった喫茶店の女主人の心を揺り動かす。四者四様の切ない想いが、商店街の人々の人間模様と穏やかな日常を交えて綴られていく。『病院で死ぬということ』『東京兄妹』『トキワ荘の青春』と、心あられる作品を相次いで誕生させている市川準監督が、初めて挑んだ大人の恋愛映画。人と人生をいとおしむ気持ちがか全編に溢れた、心の奥底にみえる、市川映画の新たな世界が誕生した。

その恋は、さりげない日々の中で秘められたまま咲いて散りました。長塚、倍賞、桃井、実力派三名優が織りなす大人の愛の物語。

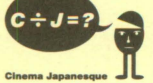
一見謎めいていて、どこか人を引き付ける魅力を持った男・浜中に、映画主演出演が相次ぐ長塚京三。夫不在の家を支え、地に足のついた生活感を葆つつ自分の生き方も見失わない妻・久子を、その圧倒的な存在感で演じた倍賞美津子。過去の恋に揺れる喫茶店の女主人・たみの微妙な女心を、新境地とも言える演技で魅せる桃井かおり。一人の男と二人の女：その大人の関係が、三人の名優で、しかも市川監督ならではの演出で見応えのある競演になっている。そして、久子に想いを寄せる青年・朝倉をNHKドラマ『大地の子』で好演人気急上昇中の上川隆也が爽やかに演じている。

人の心の機微、東京の日常、そこに漂う空気……それらこだわりの世界を表現する市川組精鋭のスタッフ陣。

撮影の小林達比古は、ドラマだけでなく風景でも物語を語らせるかのように、美しい東京の実景を映し出している。美術の重鎮、間野重雄は『トキワ荘の青春』のセットに引き続き、今回も喫茶「大沢」と浜中電気周辺のセットで、永年そこで様々な人間模様を包み込んできた空気と、浜中とたみの密着しの微妙な距離感を表現している。脚本は、若手監督佐藤信介が、監督の原案をもとに書き下ろした。



芸術文化振興基金



Cinema Japanese

97年6月下旬全国シネマジャパネスク系にてロードショー